

海外メンタルヘルスの現場から II

(48) ジャムズネット (JAMSNET) のご紹介

シンガポール日本人会クリニック

医師 日暮 真由美

JOMF ホームページのお勧めリンク集にある邦人医療支援ネットワーク、ジャムズネット (JAMSNET=Japanese Medical Support Network) という団体について、少しご紹介させていただきます。

ニューヨークでは医療、福祉、教育、心理系の邦人支援グループはたくさんあったものの、2005 年以前までは横のつながりは少なく、それぞれがほぼ独自に活動を行っている状態だったそうです。2005 年、当時のニューヨーク総領事館の仲本光一医務官とコロンビア大学教授本間俊一先生によって、グループ同士が相互に情報交換し、連携していくことが提案され、心と身体の面から海外邦人支援をより充実したものにしていくことを目的として、2006 年 1 月にジャムズネットが設立されました。ニューヨーク総領事館が協力し、日系企業が支援する非営利団体 (NPO) です。

ジャムズネットはニューヨーク、USA を中心に邦人社会への情報提供や活動を活発に行っていますが、その後、2011 年の東日本大震災に際しては日本国内の被災者に向けても USA での経験を生かした支援、情報提供を行うなど、精力的に活動しています。その後、ジャムズネットのサブグループとして、ジャムズネット東京、ジャムズネット・アジア、ジャムズネット・カナダ、ジャムズネット・ドイツなど、世界 40 数カ国を網羅する形で、活動の輪が広がっています。

私たちシンガポール在住の日本人医療関係者にもジャムズネット・アジアに所属する人が増えています。ジャムズネット・アジアでは今のところはメーリングリストでの情報交換が中心ですが、なかなか手に入れられない他国での生きた医療情報を得るのにとっても役立っています。ただ、シンガポールに關して言うと、活発に企画やイベントを行っているニューヨークや東京、タイなどに比べて、ジャムズネットとしての活動はまだまだです。シンガポールという国では、病院やクリニック運営は営利目的のビジネスであり、ここに複数ある日系クリニック間にもやはり利益をめぐる攻防が背後に見え隠れしています。そのような中では、日本人医療関係者の連携というのも必ずしも容易でない面があり、元々、医療者のボランティア意志に頼る活動なだけに、活動を広げる難しさを感じられます。

そんな中、最近、ジャムズネット・アジアを率いてくださっている外務省医務官の吉田常孝医師の御提案に基づき、ジャムズネットに属しているシンガポー

ル心理職メンバー等とともに、メンタルヘルスを中心としたネットワークを立ち上げることになりました。私が形だけ代表を務めておりますが、実態はシンガポール日本人臨床心理士の会の皆さんが中心です。2019年11月3日、ジャムズネットの世界会議の第6回目がシンガポールで開催されることになっており、只今準備中ですが、その会の中で、このメンタルヘルスネットワークメンバーによる初のイベントを行うことになりました。一般の在外邦人の皆様向けのワークショップで、テーマは、「イライラをどうコントロールするか」です。下記がリンクになっています。

<https://docs.google.com/document/d/1xDRZhJ387pytNaqx0mNpW-0HSDm3tQnvrF0Ba8qqm8/edit?usp=sharing>

この日は他にも、在外邦人のための医療や心理に関する一般の皆様向けのイベント、講演を用意しております。もしシンガポールに海外駐在員を送り出している企業の方がいらっしゃいましたら、ぜひこのジャムズネットの活動について御興味を持っていただけましたら幸いです。